

感染対策于一厶

2025年4月号 Vol.123

(2025年4月5日発行)

祝入職

## 侵襲性髄膜炎菌感染症(IMD)について 博によるマスギャザリングで注意すべき感染症第2弾

前号(2025年3月号)の麻疹に続き、4月13日から6か月間に渡って開催される関西万博によるマスギャザリングで注意すべき感染症として、侵襲性髄膜炎菌感染症(Invasive Meningococcal Disease: IMD)を取り上げます。

IMDとは、髄膜炎菌(Neisseria meningitidis)による侵襲性感染症(本来無菌環境である髄液、血液等より起炎菌が分離された病態を示す感染症)のことを示します。IMDは発症すると24時間以内に急速に進行して死に至る可能性のある重篤な疾患であり、適切に治療されていても致命率は10~15%といわれています。日本国内におけるIMDの発症率は諸外国と比べて低い(人口10万人当たり0.028人、2014年)とされていますが、一方で低頻度ながら健康人の鼻咽頭からも分離されます(保菌者:国内では成人の0.4~0.8%)。この保菌者や発病者からの『飛沫感染』で周囲に伝播するといわれています。特に、同居生活や、大人数が集まる場所(寮、イベント等)での活動、咳、キス、飲み物の回し飲み、食器の共用等の濃厚な接触が感染伝播のリスクを高めるといわれています。また、適切な感染防護具を使用せずに患者の咽頭分泌物に直接曝露した医療従事者は濃厚接触者として対応する必要があります。

IMDの潜伏期間は2~10日間(平均4日間)であり、発症は突発的であることが多く、頭痛、発熱、嘔気等の症状から<mark>短期間のうちに菌血症、髄膜炎、意識障害、ショック状態、多臓器不全へ移行</mark>し、治療が間に合わないと高い確率で死に至ると言われています。

2023年に当院は職場で勤務終了後に気分不良となり、当院への搬送中に心肺停止状態となった症例(30代女性)を経験していますが、後にIMD発症の可能性が高いと考えられました。今後IMD発症例が当院を受診するパターンとしては、搬送時には既に意識障害、多臓器不全を呈していたり、あるいは近医から発熱、頭痛、嘔吐等で紹介受診し、入院する頃には急変して意識不明、ショックバイタルとなっている等が考えられます。IMD症例とわからない段階で、感染対

策を行わないままに診療にあたり、濃厚接触者と判定された医療従事者には、発症予防のためにRFPやAZMの予防投与が推奨されています。 予防投与の効果は非常に高いですから、IMD症例の速やかな診断と診断後の対応が重要となります。

## 

侵襲製髄膜炎菌感染症(IMD)の発生動向のサーベイランスが開始された2013年以降では、2024年の国内における累積報告数は66例と過去最多であり、大阪府からは11例と全国最多でした。2025年の国内の累積報告数は第10週の時点で既に20例であり、大阪府からは3例報告されています(図)。関西万博の開催とともに海外からの流入者が増加し、IMDの国内発生者数は更に増加していくことが懸念されるとともに、当院に発症者が受診する可能性は十分にあると思われます。 (感染管理室 安井 良則)

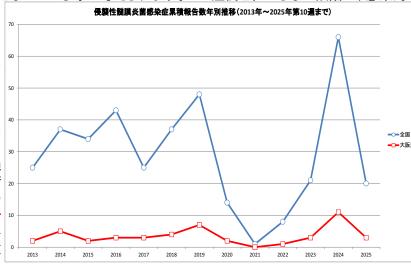


図. 侵襲性髄膜炎菌感染症(IMD)の累積報告数年別推移(2013年~2025年第10週) (**国立感染症研究所HP: <u>https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html</u> より** 

IMDのサーベイランスデータをダウンロードしてグラフを作成)

## 2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)に向けて

2025年4月13日から10月13日までの6ヵ月の期間、大阪市の夢洲地区において大阪・関西万博が開催されます。海外から多くの人が日本を訪れ、万博以外にも国内観光をすることも想定されます。海外からの人の移動に伴い、感染症の持ち込みが懸念されています。海外では、日本では大半の国民に接種されているワクチンが実施されていない国もあり、国や地域によって流行している感染症も異なります。

以上のことからも、**海外から普段は流行しないような感染症が持ち込まれる可能性**を 考慮しておく必要があります。そのため、職員の皆様には海外からの渡航者はもちろん、 それ以外の全ての患者対応時に標準予防策の徹底をお願いします。

(感染管理室 永田 夏子)

◆ 手指衛生の5つのタイミング遵守 / 適切な個人防護具の選択と着用

- ▶情報収集 □ 発熱者には引き続き、渡航歴の確認
  - □ 訪日者には日本の滞在期間
  - □ 万博への入場歴の確認

令和7年度

第1回感染対策研修会の 開催日が決定しました 7月22日(火曜日)17:15~ 楽しみにお待ちください